広報 みなみみのわ
2011 1月
●平成23年1月1日発行 ●編集／南箕輪村広報委員会 ●発行／長野県上伊那郡南箕輪村役場
〒399-4592長野県上伊那郡南箕輪村4825-1 電話／0265-72-2104（代表） FAX／0265-73-9799 URL http://www.vill.minaminowa.nagano.jp e-mail vilm-m@vill.minaminowa.nagano.jp
●印刷／アド・コマーシャル（株）

公民館からのお知らせ ふるさと再発見講座 パートⅣ
「村の産業を引っ張る若者たち」 村公民館TEL76−7007

村公民館では、ふるさと再発見講座の第4弾として、村の産業を引っ張る若者たちに、これからの村の産業についての考えや思いをお聞きします。
またとない機会ですのでぜひご参加ください。

◆日　時　1月29日（土）
　午後1時30分〜3時30分
◆場　所　村公民館　大会議室
◆定　員　なし（資料等の準備がありますので、事前にお申し込みください。）
◆参 加 費　無料
◆持 ち 物　筆記用具
◆申込締切　1月19日までに、村公民館事務局までお申し込みください。

●問い合わせ先　村公民館事務局（教育委員会事務局内）TEL76−7007

みなみみのわメールメッセンジャー 配信中

災害発生や防犯などの緊急情報に加え、保育園や学校からのお知らせ、制限付一般競争入札情報など、様々な最新情報をお届けします。

●パソコンからの登録変更は
http://www.ikkr.jp/mmへアクセスしてください。

●携帯電話からの登録変更は
mm@emp.ikkr.jpに空メールを送信してください。

▲こちらの二次元バーコードから空メールを送信してください。

村では、広告料収入による自主財源確保のため、村広報紙「広報みなみみのわ」に有料広告を掲載しています。

広報みなみみのわに広告を掲載しませんか？

広告に関するお問い合わせは、アド・コマーシャル(株)TEL0265-76-2121　FAX0265-74-1212へお問い合せください。

平成23年 年頭の ごあいさつ

南箕輪村長 唐木 一直

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、7月の長雨により旧天竜橋が沈下する災害がありましたが、台風による被害もなく、比較的穏やかな年となり、ありがたかったところであります。

農業関係におきましては、春先の天候不順、夏の猛暑と、気候の変動の激しい年となり、その影響により、全ての作物が豊作とはならず、また、品質の低下もあり、残念なことでありました。経済状況は春以降一部に明るい兆しが見え始めていましたが、円高による影響により先行きが不透明となり厳しい状況でありました。

財政も大変厳しい状況ではありましたが、2月には、環境に配慮した太陽光発電・ペレットボイラーの自然エネルギーを取り入れた南原保育園が完成し、先進的な特色ある園舎として関係機関の視察も後を絶たない状況であります。本年度の最大の事業であります防災無線デジタル化事業は、おかげさまで当初の見積もり額を大幅に下回る契約となり、今年の5月末には国の認可を経て完了、梅雨時期前には使用できる見込みであります。10月には長年の懸案事項でありました国道153号伊那バイパスが天龍橋を含め開通をいたしました。多くの関係者の皆様のご協力にお礼を申し上げますと共に、交通の利便性を含め、地域の発展の基になることを期待するところであります。

また、大芝高原の森林セラピーロードを活用した健康づくりや地域振興を目的に連携・協力するための松本大学との協定の締結、信州大学農学部との産業振興や人材育成、環境保全などの連携・協力を進める協定の締結と、村の特性をさらに生かし高める体制を整えることができました。

さて、今年は、不況の影響により今後の景気動向の見通しが困難であり、政府予算の地方財政計画も不透明で期待できない状況にあります。このような中ではありますが、財政状況を見極め、村民生活優先の安全・安心な暮らしの確保、共生の村づくりの推進、環境に優しい村づくりを基本方針として事業を推進してまいります。重点事業としまして、ソフト面では母子・高齢者福祉に関わる各種ワクチン接種費用の補助、3月末までに答申が出されます地域総合交通体系の整備等の充実を図ってまいります。ハード面では親子通園・療育保育施設の整備と国道153号伊那バイパス関連の村道整備、中部保育園・南部保育園への太陽光発電設備の設置、小中学校体育館の大規模改修を進めてまいります。

南箕輪村は県下一若い村ではありますが、少子高齢化の全国的な波は、徐々に押し寄せてきております。これからは、高齢者が生涯現役として、生きがいを持ちながら健康で元気に暮らせる施策も確立していく必要があります。すべての村民の皆様がこの村に住んで良かった、ずっとこの村で暮らし続けたいと思っていただける村づくりをめざし、これまで以上に努力してまいることをお約束し、迎えました新年が皆様にとりまして、明るい希望に満ちたすばらしい年でありますようにご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

村議会議長 原 悟郎

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には輝かしい新春を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

常日頃は、私共の議会活動に対し多くの御支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、幸いにも7月の長雨による天龍橋の陥没以外は大きな災害もなく、穏やかな年でありましたが、春先の天候不順と長雨、夏から秋の記録的な猛暑とあわせて少雨のため乾燥状態が続き、農作物の収量や品質の低下となりました。

経済的には、緩やかな回復のきざしがあるものの、急激な円高で先行き不透明感が強まり、このところ足踏み状態となっています。また、就業率も低く、若者にとっても失業者と共に厳しい状況にあります。

村においては、10月には、新しい天龍橋が完成し、村内の国道153号伊那バイパスが全線開通いたしました。南原保育園の新築竣工、西部保育園、北部保育園改修工事を始め、村内の自然環境を守り、住民の安全安心施策などについて、議会として行政と共に充分な論議のうえで、慎重に取り組んでまいりました。また、議会活性化の一環として、研究会を発足し、毎月定例の全員協議会の開催により情報の共有化を図ることや、村内各種団体との懇談会を開催し意見交換を行い、意見や提言をいただいております。また、村政全般について、担当委員会を中心に、関係案件を審査し、現地調査又先進地視察等を重ね、自らの活動の強化と、村行政に意見や提言を行い、併せて積極的に各種事業に参加してまいりました。

本村も、高齢化率が昨年20%を超え、着実に高齢化社会へと進んでおります。今後は高齢者や子育て等あらゆる福祉の向上に取り組み、併せて、住環境の整備等含め、村民が積極的に村政に参加し、自助、共助の取り組みに期待をしております。

さて、本年の景気は、一部には回復が見えると言われているが、全体的には円高による不況はまだまだ不透明感があり、それが税収減等厳しい村政運営になることが予想されます。加えて、昨年7月行われた参議院選挙では、与野党逆転によりねじれ国会となり、内政外交共に不安定な政治状況が続き、安定した国政を本年は望むところです。このような厳しい情勢の中で、われわれ議員の果たすべき役割と責任は益々大きく、村民の代表としての責務と役割を、深く自覚し決意も新たに議会活動に一丸となって、取り組んでまいる所存であります。

本年4月には私共の任期が終わり、村議会議員が改選となりますが、村議会に対し、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

皆様方におかれましても、厳しい年の始まりですが、ご健康で幸せな年でありますよう、心よりお祈り申し上げ新年のあいさつといたします。

特集

南箕輪村民の歌

作詞　加藤明治
作曲　遠藤温子

一、山脈(やまなみ)遠き　朝ぼらけ
ゆたかに川は流れたり
世の穀倉(こくぐら)と　きこえつつ
黄金(こがね)の波は　地に満てり

二、眼(まなこ)あぐれば　西空に
夕やけあかき　経ヶ岳
此(こ)の地ひらきし　御祖(みおや)らの
心つぎつつ　胸おどる

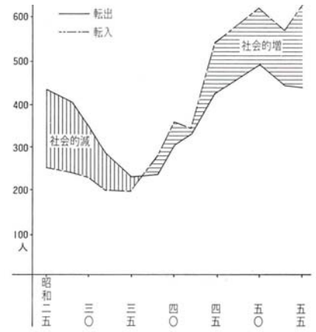
三、水うるわしく　湧くところ
ここに産声　あげたれば
心は高く　清かれと
村をこぞりて　励みゆく
あゝわれらの大地南箕輪
ここに育ちし誇りあり

～時代背景～

皆さんは、「南箕輪村民の歌」を知っていますか。

南箕輪村民の歌(以降「村民の歌」)は、昭和36年6月15日に制定されました。

当時の南箕輪村の人口動態は社会的増減で見てみると、昭和35年ころまでは漸減傾向にありましたが、昭和37年からは転入者と転出者の割合が逆転し、社会的減から社会的増に転換しています。毎年300人から600人もの人が転入していて、人口も急増しています。



人口の社会的増減(昭和25年～55年)

昭和35年の村の人口は6千人ほどでしたから、割合からいっても多くの人たちが転入していることが分かります。

村民の歌の作られた昭和36年は、人口面から見た南箕輪村の転換期だったのです。

250人前後の転出者と、それを上回る転入者。以前からの住民と新たに来た人たちを結びつけるためにも、村民の歌は必要とされたのかもしれません。

～作詞　加藤明治～

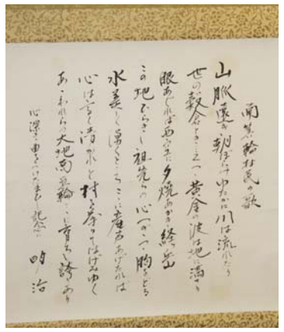
村民の歌の作詞者には、南箕輪村在住の児童文学者である加藤明治さんが選ばれました。

加藤明治(明治44年5月23日～昭和45年12月30日)

明治さんは明治44年に塩ノ井で生まれ、小中学校の教員として働く傍ら、短歌や童謡、童話などを執筆していました。昭和35年には短編童話集「つるの声」で日本児童文学「新人賞」を、昭和41年には長編童話「水つき学校」で日本児童文学「特別賞」および児童福祉文化賞(厚生大臣賞)を受賞しています。

創作活動も教育活動と一如であると考え、その後も執筆活動を続けていきました。

昭和45年に箕輪中学校校長を最後に退職し、その年の暮れに急逝されました。


明治さん直筆の歌詞(加藤家所蔵)

「山脈遠き朝ぼらけ」で始まる村民歌の歌詞は、自然と村の情景が浮かんでくるような気さえします。代表作である「水つき学校」にもいえることですが、この地で生れ育った明治さんだからこそ書けた文章・詞であったと思います。

代表作「水つき学校」東都書房刊

明治さんの著書の大半はすでに絶版となっているため入手は難しい状態です。しかし、村図書館に「水つき学校」「コナシ原の鈴虫」の2冊が所蔵されています。ぜひご覧ください。

～意外な関係～

南箕輪村は平成8年4月に南部小学校が完成するまで、伊那市に教育委託してきました。沢尻や南原、神子柴の一部の子どもたちは伊那中学校へ通っていたのです。

この伊那中学校と村民の歌には意外な共通点があったのです。

実は昭和22年に作られた伊那中学校校歌も明治さんによる作詞でした。

伊那中学校校歌

一、山脈(やまなみ)は　青くめぐりて
川遠く　南に流る
見晴しの木深き丘(おか)べ
古きより　学びの地たり

二、白雲(しらくも)のかよふ　高根の
峯楓(みねかえで)　微章(しるし)と仰ぎ
ゆたかなる　文化もとめて
その心　高く清かれ

三、赤石(あかいし)の　空のかなたに
あけぼのの　光見えたり
もろともに　日々をはげみて
明日の世をわれらになはん

特集

村民の歌

村民の歌と同じ「山脈」で始まるこの歌も、明治さんらしい作詞であるといえます。

2番の歌詞の中に「その心高く清かれ」というフレーズがあります。村民の歌の中にも「心は高く清かれと」という歌詞が出てきます。

この共通点について、明治さんのご子息である加藤達人（かとうたつと）さんに話を伺いました。

「父からは様々な言葉がけがありましたが〝こころざし高く〟はたえず言っていました。〝つつましく地味にこころざし高く〟が一連の言葉ですが、ここで言う〝こころざし〟とは心の差す方向を言います。常に高い方向に心を向けていけと励まされました。」

自らの思いを、村民の歌や校歌を通じて、皆に伝えようとしていたのかもしれません。

加藤達人さん（前村教育委員長）

～失われた村民の歌～

こうして作られた村民の歌は、小中学校の音楽の授業などで歌われました。

また、南箕輪村農業協同組合（現:上伊那農業組合）の農事有線放送が開始されると、毎日朝晩に村民の歌が放送されました。発足当初の有線放送は、村内世帯数に占める農家世帯の割合が高かったこともあり、多くの世帯が加入していました。全村への連絡放送網としても活用されていたため、多くの人たちは毎日耳にしているうちに、次第に村民の歌を覚えていきました。

こうして村民の歌は浸透していきました。

しかし、次第に村民の歌を歌えない人、存在すら知らない人が増えていきます。

いつの頃からか、村民の歌の放送も終わり、学校でも習わなくなったことが原因と思われます。

いつごろまで学校で歌われていたのかの聞き取り調査をしたところ、昭和41年生まれの方が境らしいということが分かりました。

学校でも歌われることがなくなった村民の歌は、公式の場ではかろうじて年に1回の成人式でのみ歌われてきたのです。

しかし、平成6年度の成人式からはそれもなくなりました。

当時の成人式は、その年の新成人らで構成する実行委員会により企画・運営されていました。

「村民の歌なんて誰も知らないから、式で歌うのを止めよう」

「成人式で歌うことになっても誰も歌えず、場がしらけてしまうのではないか」

式の内容を決める委員会内でこのような意見が出されたのです。

そうして、その年の成人式から村民の歌は歌われなくなってしまいました。

～新たな動き～

それから13年後の平成19年。村民の歌に関する新たな動きがありました。失われてしまったかに見えた村民の歌ですが、村公民館の講座などで歌い継がれていたのです。

その際に使われていた音源は、村民の歌製作当時のカセットテープしかなく、劣化も進んで音も飛びがちになっていました。

「きれいな音で村民の歌を歌いたい」との声が上がり、村教育委員会は村民の歌のCD化を決定しました。

CD製作にあたり、これまでの音源は使わず、新たに収録しなおすこととなりました。

歌はオーディションで選ばれた村出身で長野市在住の滝澤明由美（たきざわあゆみ）さんが、ピアノ伴奏は北原在住の倉田香恵（くらたかえ）さんが担当しました。

滝澤さんは、塩ノ井の実家に来たときに偶然、広報紙に載った公募記事を目にしたそうです。

「声楽を学んだ経験もありましたし、長野県に県歌「信濃の国」があるように、南箕輪にも村民の歌があるんだと、村の人たちに知ってもらいたいと応募しました」と滝澤さん。

滝澤明由美さん（塩ノ井出身）

昭和46年生まれの滝澤さんは、学校では村民の歌を習っていない、村民の歌を知らない世代です。収録にあたり練習したのでしょうか。

「村民の歌は昔から実家で習っていました。成人式のときに歌えたのは私一人だけでした（笑）」

実家で習った…？

塩ノ井出身の滝澤さんの旧姓は「加藤」です。

そう、滝澤明由美さんは、作詞者である加藤明治さんのお孫さんだったのです。

「祖父が亡くなってすぐに私が生まれました。祖父は私が生まれてくるのをすごく楽しみにしていたそうです。そんな祖父の遺した村民の歌を歌うことができると決まったときにはとても感激しました」

村民の歌のCDは平成19年10月に完成しました。

完成したCDを使い、村の公式行事や小中学校などでも、村民の歌は再び歌われるようになりました。

成人式の事務局である村公民館でも式典内で歌うことを決定しました。

CD製作に携わっていた人たちの中に、13年前の成人式実行委員の一人だった鈴木達也（すずきたつや）さんもいました。

当時、公民館主事を務めていた鈴木さんは、再び村民の歌とめぐり合ったのです。

「成人式で歌うのを止めようと提案した側だった自分が、成人式で再び歌うように提案する側になったのは、とてもおかしな感じがします。しかし、CD製作に携わり、この歌にはたくさんの人たちの想いがこもっていることを知りました」

「誰も知らないから歌わないのではなく、多くの人に知ってもらいたいから歌う。そう感じるようになりました」と鈴木さん。

現在でも、成人式では村民の歌は歌われ続けています。

～これからの～

昨年11月に、村公民館主催で「加藤明治の人と童話の世界」と題した講演会が開かれました。講師はもちろん、ご子息の加藤達人さんです。講演会の最後に、滝澤明由美さんと倉田香恵さんにより、村民の歌が披露されました。その力強く澄んだ歌声に、参加した人たちは聞き惚れていました。

「生まれた土地を離れて暮らしていると、いつの間にか弱くなっている自分がいます。生れ育った場所を思うことが自分の強さになります。私にとって村民の歌もそういったものの一つなんです」と滝澤さん。

村民の歌が誕生してから今年でちょうど50年。

これからもずっと、村民の歌は歌い継がれていってほしいと思います。

一度は失われかけた村民の歌。

でも、きっと大丈夫。

なぜなら、村民の歌は私たちのこころの歌になりつつあるのですから。

南箕輪村民の歌

加藤明治　作詞
遠藤溢子　作曲

村臨時職員募集

役場では、平成23年度の臨時職員を次のとおり募集します。　総務課行政係

■募集職種など

職種	雇用形態 長期	雇用形態 日々	賃金(円)	勤務内容
一般事務	●	●	日額 5,570～6,100	役場等での事務処理
税徴収員	●		日額 7,190	巡回し村税等を徴収
保育士	●	●	日額 6,600～8,250	通常時間の保育士業務（早番、遅番あり）
保育士（長時間保育）	●	●	時間額 1,160	7:30～11:30、15:15～19:00の保育士業務
調理員	●	●	日額 5,690～7,500	保育園又は学校給食センターでの給食調理
保健師	●	●	日額 10,000	保健指導など
看護師		●	日額 7,600	予防接種補助など
栄養士	●	●	日額 8,150	給食の献立指導など
管理栄養士		●	日額 8,150	栄養指導など
教諭	●	●	日額 8,500	小中学校臨時講師など
養護教諭		●	日額 8,500	学校行事など際の養護教諭
介助員	●	●	日額 7,190	小中学校での支援が必要な児童の介助
学童保育指導員	●	●	時間額 1,000	放課後の児童の保護監督（16:30～18:30）
司書	●	●	日額 6,040～7,190	村図書館、小中学校の司書業務

・●は今回募集するもの　・勤務形態によっては、6月と12月に勤務実績に基く一時金が支給されます。
・通勤距離が2km以上の場合は、距離に応じた通勤手当が支給されます。

採用予定人数…各職種若干名

・複数の職種、雇用形態を希望することができます。
・長期雇用は、6か月以内の期間で、各職場の必要とする日、時間に定期的に勤務します。必要により雇用期間を延長することがあります。
・日々雇用は、代替要員、短期事業の増員などとして、各職場が必要とする都度不定期に勤務します。
・勤務時間などが加入要件を満たす場合は、社会保険、雇用保険に加入します。
・勤務形態によっては年次休暇が付与されます。

■応募要件

・原則として村内在住者に限ります。
・看護師、保健師、栄養士、管理栄養士、教諭、養護教諭は、それぞれ資格を必要とします。

■応募受付

・受付期間：1月4日（火）～2月4日（金）の平日午前8時30分～午後5時15分
・応募先：役場総務課行政係

■提出書類

・臨時職員登録申込書
・資格を証明する書類の写し（応募する職種について資格を取得している場合）
※臨時職員登録申込書は、総務課行政係にあります。また、村ウェブサイトからダウンロードすることができます。

■選考・採用決定

・臨時職員の雇用は、登録制です。申込書により登録した方の中から選考します。
・選考は、年齢、資格、経験などを考慮して書類審査または面接により実施します。
・長期雇用として採用が決定した方には、3月上旬までに各担当部署から連絡します。
・日々雇用の方には、平成23年度中の必要が生じたときごとに各担当部署から連絡します。

よもやまトピックス

Yomoyama Topics

信州大学農学部と連携・協力

村は信州大学農学部と産業振興、人材育成、保安や環境保全などの分野での連携・協力するための協定を締結しました。

11月16日には農学部の食と緑の科学資料館「ゆりの木」で締結式が行われ、農学部の中村宗一郎学部長と唐木村長が協定書に署名し、協定が結ばれました。

この協定は村と農学部が連携・協力をすることで、活力ある地域づくりを進めるとともに人材育成の場を充実させることなどを目的とするものです。

唐木村長は「地元の大学との協定は大変うれしいこと。南箕輪村はまだまだ発展の可能性がある。専門知識を持った大学の皆さんの力を借りながら、個性豊かなむらづくりを行いたい」と挨拶しました。

中村学部長は「両者のもてる人的・物的な情報を共有し、互いに発展していきたい」と話しました。

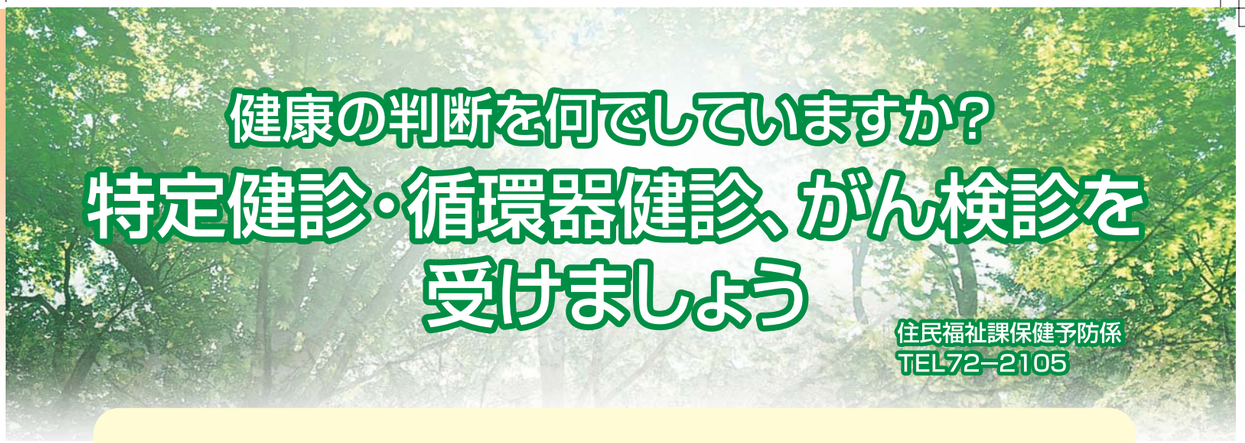
住民安全安心大会

11月20日に村民センターで、住民安全安心大会が開かれました。

これは、住民の参画と協働による安心安全のむらづくりの推進に向け、13年ぶりに開催されました。

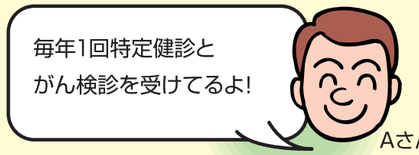
大会は長野県警察音楽隊によるアトラクションで開幕。伊那警察署の交通課長や生活安全課長による講話、小学生の交通安全作文発表、南殿自主防災会の事例発表などが行われました。

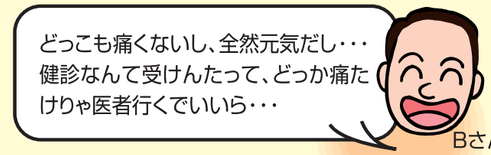
大会後には、村の青色回転灯車や消防団ポンプ車、パトカーなどが村内をパレードし、安心安全なむらづくりを呼びかけました。



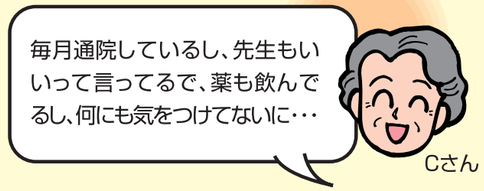
健康の判断を何でしていますか？
特定健診・循環器健診、がん検診を受けましょう

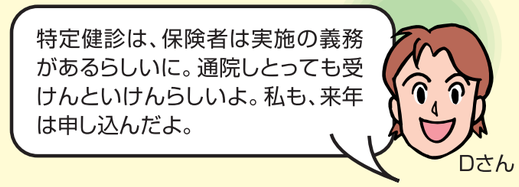
住民福祉課保健予防係
TEL72−2105





こんな会話を耳にしませんか？





さて、皆さんは健康の判断を何でしていますか？

村では、平成23年度健診受診希望のとりまとめを行っているところですが、厚労省では、特定健診は65%、がん検診は50%の受診率を目指しています。村の特定健診の受診率は、平成21年度38.6%でした。がん検診については20%程度です。

では、なぜ健診受診をすすめているのでしょう？

南箕輪村の早世死亡（65歳未満の死亡）を見ると、1位が悪性新生物、2位が生活習慣病（脳血管疾患や心疾患）で、村実施の特定健診・循環器健診やがん検診を受診していないか、あるいは6〜7年以上前に受診したことがある方がほとんどでした。

村国保の受療の状況を見ても月に100万円以上医療費のかかった方は、悪性新生物、脳卒中や心筋梗塞、解離性大動脈瘤、大腿骨々折等でした。脳卒中や心筋梗塞等は、動脈硬化が進行し発症します。生活習慣病（=動脈硬化）は、自覚症状がでた時には病気が発症している可能性があります。自覚症状がなくても特定健診・循環器健診を受診し血液検査や尿検査をすることで、自分の健康実態がわかります。そのうえで、生活習慣を見直し改善し、生活習慣病を予防しましょう。

★健康は、健康診断・がん検診を受けて判断しましょう!!
★お茶飲み話に、健診データの話題が出る村にしましょう!!
★ぜひ、多くの皆様の受診をお願いします。

暮らしの相談　お気軽に
私の地域の民生委員・児童委員です。

住民福祉課高齢者福祉係　TEL.72−2105

民生委員・児童委員とは、厚生労働大臣からの委託を受けた福祉ボランティアです。地域のもっとも身近なところで住民の立場に立った相談に応じたり、必要な支援を行なって地域支援のために努めています。

12月1日付で、新しい民生委員・児童委員が委嘱されました。28人の地区担当委員と2人の主任児童委員です。

任期平成22年12月1日から平成25年11月30日までの3年間です。

同じ地域に暮らす民生委員・児童委員です。「身近な福祉の相談役」としてお気軽にご相談ください。

なお、民生委員・児童委員には「守秘義務」があります。相談内容が漏れることは決してありませんので、安心してご相談ください。

民生委員・児童委員に関するお問い合わせは、役場住民福祉課高齢者福祉係へお願いします。

堀 美津男（久保）

堀　泉（久保）

大藏 俊雄（中込）

池上 洋子（中込）

加藤 多美子（塩ノ井）

矢島 政重（北殿）

有賀 ちづ子（北殿）

倉田 龍一（北殿）

向山 いつ子（北殿）

鋤柄 良一（北殿）

唐木 惠美子（南殿）

小森 博人（南殿）

加藤 勢津子（田畑）

有賀 利行（田畑）

金井　健（田畑）

澤田 一子（田畑）

丸山 博志（神子柴）

宮澤 知惠（神子柴）

三澤 和惠（神子柴）

加藤 多門（神子柴）

御子柴 佳臣（沢尻）

重盛 和子（沢尻）

塩澤　肇（南原）

小坂　恵（南原）

横道 宗弘（大芝）

西巻 義雄（大泉）

清水 正子（大泉）

足立 千惠子（北原）

宮下 廣規
（主任児童委員）

清水 初美
（主任児童委員）

11月30日付で退任された民生委員・児童委員は次の皆さんです。たいへんお疲れさまでした。

宍戸敏子さん（中込）征矢卓郎さん（塩ノ井）北條　明さん（北殿）有賀節子さん（北殿）加藤　皎さん（南殿）
加藤　功さん（田畑）田野尻文子さん（田畑）太田徳光さん（神子柴）小島三重さん（神子柴）西村明子さん（神子柴）
佐藤早苗さん（沢尻）北原敏男さん（沢尻）原　　茂さん（大泉）唐澤啓子さん（大泉）
登内桂子さん（北殿・主任児童委員）

くらしの情報

健康

こころの相談
住民福祉課保健予防係

閉じこもっていて社会生活できない、家族の心の病気とうまく付き合うにはどのようにしたらいいのかわからない、福祉サービスについてわからない、発達が気がかりだが相談するところがわからないなど、一人で悩まずに相談してみませんか?

■期日
1月13日(木)、2月10日(木)、3月17日(木)

■時間
午前9時、10時、11時(予約制)

■場所　村保健センター

■相談料　無料

上伊那圏域障害者総合支援センター「きらりあ」コーディネーターが相談に応じます。

募集

放送大学4月入学生募集
放送大学長野学習センター
TEL 0266-58-2332

放送大学では、平成23年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、教養を深めたい、仕事に活かしたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

詳しい資料を無料でお送りします。お気軽にお問い合わせください。

放送大学ウェブサイト
(http://www.ouj.ac.jp)
でも受け付けています。

■出願期間
平成23年2月28日(月)まで

わくわくクラブシンボルマーク募集
NPO法人南箕輪わくわくクラブ
TEL 78-8313

NPO法人南箕輪わくわくクラブでは、創設10周年を記念してクラブのシンボルマークを募集しています。

わくわくクラブは、2002年3月に発足し、多数の方々にご協力いただきながら会員数1400人～1500人で活動しています。

そこで、今年10月2日に10周年記念イベントを開催します。

シンボルマークの応募期限は3月末日です。使用できる色は2色までです。

どなたでも応募できますので多数の方の応募をお待ちしています。

催し

村顧問弁護士の無料法律相談
総務課行政係

村では顧問弁護士、長谷川洋二弁護士による無料法律相談を奇数月に実施しています。法的トラブルや消費者問題などでお困りの方、お気軽にご相談ください。

事前予約制となりますので、総務課行政係までご連絡ください。(先着8人まで、相談時間は1人15分以内になります。)

■日時
1月14日(金)午前9時30分～12時

■場所
役場3階　会議室

問い合わせ先

□村長室直通
FAX 72-2898
□役場代表(総務課)
TEL 72-2104 有 75-2900
FAX 73-9799 有 75-2914
□住民福祉課
TEL 72-2105 有 75-2902
TEL 72-2106 有 75-2904
□財務課
TEL 72-2321 有 75-2942
□収納対策課
TEL 98-0240
□産業課
TEL 72-2180 有 75-2906
TEL 72-2176 有 75-2915
□建設水道課
TEL 72-2325 有 75-2905
TEL 72-2326 有 75-2909
□会計室
TEL 72-2168 有 75-2907
□教育委員会事務局(公民館事務局)
TEL 76-7007 有 76-7007
□村図書館
TEL 73-4946 有 73-4946
□議会事務局
TEL 72-2361 有 75-2913

お知らせ

20歳がスタート!「国民年金」
住民福祉課住民係

20歳を迎えると、様々な権利とともに義務も生まれます。国民年金に加入することもそのひとつです。

国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての人が加入して、やがて誰にも訪れる老後の所得保障だけでなく、障害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなで前もって保険料を出し合いお互いを支え合う制度です。

ただし、加入の届け出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともあります。「あの時に…」と後悔する前に20歳になったら国民年金に加入しましょう。(20歳前に就職して厚生年金等に加入している方は、第2号被保険者となっていますので、国民年金加入手続きは不要です。)

学生であっても20歳以上であれば加入して保険料を納めることになります。しかし、学生は、所得が少ない等の理由で国民年金保険料を納めることが困難な場合が多いため、在学期間中の保険料の納付を猶予する「学生納付特例制度」があります。対象となるのは、大学等に在学する20歳以上の方で、本人の前年所得が118万円以下の方となります。学生納付特例制度の申請は毎年必要です。申請をご希望の方は、役場住民福祉課もしくは伊那年金事務所(伊那市山寺)へ学生証または在学証明書(原本)をお持ちの上、手続きをお願いします。

詳しくは、伊那年金事務所
TEL 76―2301までお問い合わせください。

余剰ごみチケット回収結果
住民福祉課生活環境係

22年度から新しく始まった、上伊那広域連合の余剰ごみチケット回収事業の結果は次の表のとおりとなりました。

この事業は、3月末で使えなくなるチケットでの駆け込み購入を防ぎ、ごみの減量化を図ろうとするものです。

回収されたチケットの枚数をポイントに換算し、奨励金として上伊那の各小学校児童会に交付します。

23年度も引き続きこの事業を行う予定です。新年度になりましたら学校、各地区衛生部を通じて回収をお願いしますので、ご協力をお願いします。

今年度回収実績

■総回収枚数　1,972枚
■学校・役場回収分　1,103枚

各地区回収分			869枚
久保	91枚	田畑	89枚
中込	6枚	神子柴	60枚
塩ノ井	71枚	沢尻	60枚
北殿	30枚	南原	14枚
南殿	253枚	大芝	78枚
大泉	60枚	北原	57枚

正しい操作で、安全除雪!
建設水道課建設係

毎年、雪のシーズンになると、歩行型除雪機による事故が多発しています。除雪機を使用する際には、事故を未然に防ぐため、次の点に注意して操作しましょう。

(1)作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。

(2)回転部に近づく時は、必ずエンジンを停止し、回転部(オーガ、ブロワ)が完全に停止してから作業を行いましょう。また、雪詰りを取り除く時は、必ず雪かき棒を使って行いましょう。

(3)機械の操作時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。

(4)除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近付けないようにしましょう。

センター試験実施に伴う交通渋滞にご注意ください
信州大学農学部学務係
TEL 77-1310

平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月15日(土)・16日(日)に実施されます。

信州大学農学部試験場での受験生数は、約1000人です。

例年、農学部構内を通る村道において、受験生の送迎車による渋滞が発生し、一般の通行車には大変ご迷惑をお掛けしています。

今年も渋滞が予想されますので、通行される際は、歩行者の安全にお気をつけいただき、村道の渋滞についても、皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

注※ 社会保険料等食控除後の給与等の金額が299,000円～302,000円で扶養親族等の数が0人のとき

税制改正のお知らせ

財務課税務係

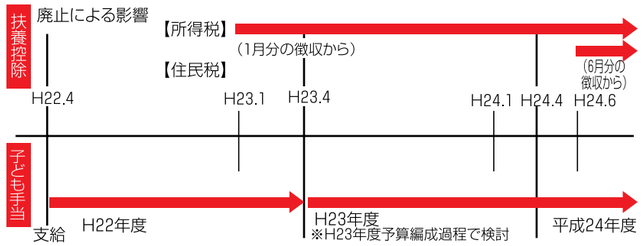
平成22年度の税制改正で扶養控除の見直しが行われ、①年少扶養親族（年齢16歳未満）に対する扶養控除が廃止②特定扶養親族の範囲が年齢19歳以上23歳未満となりました。これらの改正は所得税は平成23年分から、住民税は平成24年度課税分から適用されます。

■こう変わる　源泉所得税

サラリーマンの給与から源泉徴収（天引き）される所得税額は「源泉徴収税額表」によって決まります。税額表は給与を受け取る人の扶養親族等の数によって使用するようになっており、扶養親族等の数が多いほど源泉徴収税額は少ないという仕組みです。
税制改正で年少扶養親族に対する扶養控除が廃止されたことに伴い、平成23年1月1日以降は「源泉徴収税額票」の扶養控除等の数に年少扶養親族は含まれません。そのため年少扶養親族がいる方の多くは源泉徴収税額が増えることになります。

■扶養控除の廃止と子ども手当のイメージ

●扶養控除（年少）の廃止については、所得税は平成23年分から、住民税は平成24年度からの適用となります。
●子ども手当は平成22年度については、月額1.3万円です。



認知症キャラバン・メイト養成研修

住民福祉課高齢者福祉係

村では、「認知症サポーター」を養成する講師役となる「キャラバン・メイト」を養成するための研修会を開催します。

■日時

1月28日（金）
午前の部 9時～正午
午後の部 13時～16時30分

■受講料

無　料

■受講資格

全日程にわたり受講可能で、介護従事者、ボランティア等で、「認知症サポーター養成講座」を原則としてボランティアで行える方

■定員

40人（先着順）

■申し込み

1月14日（金）までに専用申込書により住民福祉課までお申し込みください。

Happy Birthday

お誕生おめでとう

わが家のアイドルたち

10/1 神子柴 上田 雄晴ちゃん（光男さん・希巳枝さん）
10/13 大泉 平岩 叶利野ちゃん（明さん・真由美さん）
11/4 久保 赤羽 大和ちゃん（秀俊さん・昭美さん）
11/4 沢尻 山田 翔大ちゃん（剛さん・奈緒子さん）
11/6 北殿 三澤 姫奈ちゃん（隆也さん・真由美さん）
11/7 久保 金塚 憧ちゃん（伸也さん・千春さん）

11/7 北殿 小山 陽平ちゃん（和仁さん・俊美さん）
11/11 北殿 荒井 里虹ちゃん（保さん・好江さん）
11/13 大泉 出浦 瑛真ちゃん（雄太さん・久美子さん）
11/19 南原 田中 姫広ちゃん（佑樹さん・裕子さん）

11/19 北殿 堀越 志帆ちゃん（心太さん・望さん）

11/21 田畑 角 敬太ちゃん（剛彦さん・敦美さん）

11/23 神子柴 有賀 美空ちゃん（博人さん・理枝さん）

11/23 神子柴 北條 晴大ちゃん（清彦さん・香織さん）
11/30 北殿 小幡 莉子ちゃん（剛史さん・智子さん）

人の動き

南箕輪村
H22.12.1 現在（　）内は、前月比

人　口 14,644人（+13人）
男　性 7,276人（+6人）
女　性 7,368人（+7人）
世帯数 5,474世帯

かなしみ（死亡）

ご冥福をお祈りします

南殿 山﨑 正一さん（86歳）
田畑 林 正人さん（96歳）
神子柴 織井 甲子男さん（86歳）
神子柴 髙木 文子さん（86歳）
沢尻 関口 とめさん（97歳）
南原 山田 英志さん（41歳）

”持続可能な生活排水対策を推進する“公式キャラクター募集

長野県生活排水広報委員会事務局
TEL 026-235-7299

長野県の「生活排水施設」（下水道、農業集落排水施設、浄化槽等）は、今では94パーセントを超える県民の皆さんが利用できるようになり、生活改善や良好な水環境の保全に大きく貢献しています。緑豊かで清らかな水に恵まれた本県では、これらの生活排水施設を更に整備するとともに、水洗化の促進と適切な維持管理を持続していくことにより、将来にわたってこの良好な水環境を保全していくことが重要です。
　そのため、今年度、県と市町村では、一時たりとも止めることができない施設を持続的に管理運営するための新たな中長期ビジョンとして、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想を策定いたしました。
　これを契機に、県民の皆様にこれまで以上に生活排水施設の重要な役割をご理解いただくとともに、「持続可能な生活排水対策を推進する」ため、皆様とともに取り組むことができるシンボルとして「公式キャラクター」を募集します。
募集内容等は、長野県ウェブサイトに掲載されています。
http://www.pref.nagano.jp/kankyo/seihai/kouhou/kouhou.htm
村民の皆さんのご応募をお待ちしています。

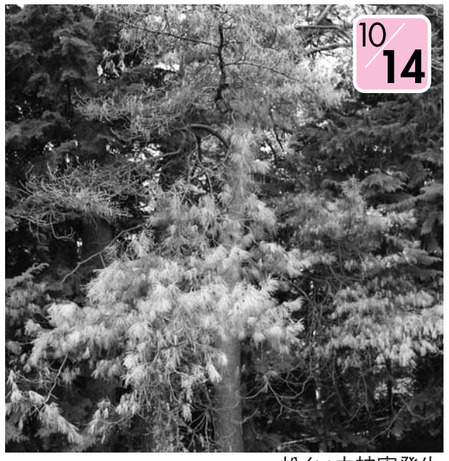
表紙写真：村公民館講座で村民の歌を披露する滝澤明由美さん。好きなフレーズは「心は高く清かれと」だそうです。

2010年 南箕輪重大ニュース

～南箕輪村の一年を振り返って～

3/16 南原保育園竣工

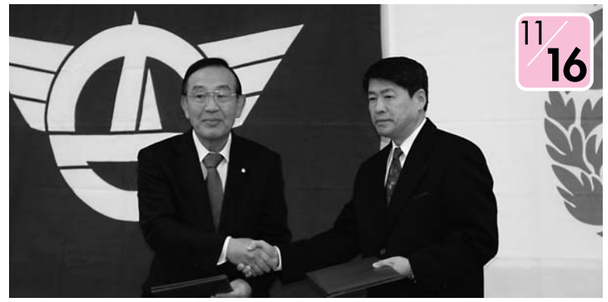
7/7 松本大学との連携・協力に関する協定締結



10/14 松くい虫被害発生

10/19 天龍橋開通

10/19



11/16 信州大学農学部との連携・協力に関する協定締結

12/23 愛の鐘クリスマスイベント開催

2010年 おもなニュース

1月
- 3日 村成人式
- 10日 消防団・日赤奉仕団出初式

2月
- 7日 自然環境調査報告会
- 14日 冬季村民体育祭

3月
- 6日 親子わんぱくランド2010
- 13日 けんこう講演会・健康部すこやか係研修会
- 14日 信濃グランセローズ大芝高原で春季キャンプ入り

4月
- 1日 消防団・赤十字奉仕団任命式
- 1日 子育て教育支援相談室設置
- 6日 小中学校入学式
- 25日 村消防団・日赤奉仕団春季演習

7月
- 3日 七夕とうろう祭り
- 30日 子ども地球サミット2010（8月1日まで）

8月
- 2日 大芝こども未来塾（8月4日まで）
- 7日 べとリンピック
- 16日 夏季村民体育祭
- 21日 第25回大芝高原まつり

9月
- 5日 村総合防災訓練

10月
- 2日 第5回イルミネーションフェスティバル（23日まで）
- 15日 インターネット公売スタート
- 17日 南みのわ農産物フェア
- 17日 村育樹祭
- 17日 村消防団秋季演習
- 30日 村民文化祭（10月31日まで）
- 30日 森林セラピーロードてくてくツアー

11月
- 3日 村表彰授与式
- 10日 中学生模擬議会
- 15日 行政地区懇談会（11月24日まで）
- 20日 住民安全安心大会